2024年度大学院外国人研究生　各専門分野における出願資格・追加提出書類

| 専門分野 | 出願資格等 | 追加提出書類 |
|---|---|---|
| 言語学 | 言語学は、（母語を含む）さまざまな言語の分析の方法を研究する分野です。従って、日本語能力の向上や日本語教授法の習得を主たる目標にする人には適当な分野ではありません。また、言語学を本格的に研究するには、日本語以外にも英語や、場合によっては他の外国語の読解力が必要で、大学院入学志願者については入学試験でその力を試します。 | 出願者には出身大学に提出した卒業論文（コピーでも可）または、日本語で12,000字程度のこれまでの研究の報告の提出を求める。卒業論文の使用言語が日本語でない場合には、日本語による12,000字程度の抄訳を添えること。 |
| 美術史学 | 原則として、国費及び国費に準ずる公的奨学金を受給する見込みのある者に限り、受け入れを検討いたします。 | |
| 日本語日本文学 | 大学院の授業の受講に差し支えない程度の日本語能力を有する人を受け入れています。したがって、基礎的な日本語の学習指導は行いません。 | ①現在までの研究経過と、大学院外国人研究生としての研究計画（日本語2,000字以上）<br>②研究テーマについての論文（日本語4,000字以上） |
| 日本史学 | 日本史学研究室は、学生が大学入学以前及び大学前期課程において2年間、日本史学の教育を受けていることを前提として、すなわち、学生が日本史学の基礎知識、また研究技法の基礎を身につけていることを前提として教育を行っています。さらに、大学院には、大学後期課程2年を修了した学生、あるいはそれと同等の学力を持つ学生の中から選抜された学生が進学します。また、授業や学生指導はすべて日本語で行われます。そこで、授業理解に十分な日本語力を備え、さらに以下のいずれかの条件に適合する学生に限り、大学院外国人研究生として受け入れます。<br>（1）☒に外国の大学で日本の歴史を研究する課程の大学院に在籍し、当該大学院での修士又は博士相当の学位論文執筆にあたり研究のため来日する学生。<br>（2）☒学で日本の歴史について研究して卒業論文を提出したか、それに相当する学習・研究歴を有する学生。 | ①現在までの研究経過と入学後の研究計画（日本語2,000字以上）<br>②日本語の研究論文、あるいは自国語による研究論文とその日本語要約(4,000字以上) |
| 中国語中国文学 | | 4000字程度の日本語の小論文。内容は、過去の研究の報告と今後の研究の具体的計画。 |
| アジア史 | 大学院外国人研究生は、原則として大学教育において歴史学の専門教育を受け、アジアの歴史に関する論文を作成した経験のある者に限り、受け入れを検討いたします。 | |
| 英語英米文学 | Postgraduate research student status may be granted to those applicants who can show to our satisfaction outstanding academic ability and good career prospects. Applicants should have a good working proficiency in spoken and written Japanese, attested to by a qualified instructor. To be considered for admission, applicants should have either of the following qualifications:<br>(A)an academic degree of BA level or above in English, and a government or otherwise established scholarship covering full living expenses in Japan.<br>or<br>(B)a teaching post in English at university level, or a good prospect of holding one; preferably with at least one scholarly article published, or an orally-delivered presentation at an academic meeting.<br>Those who come outside the above guidelines are not advised to apply.<br>The term of research studentship is one academic year. Renewal is granted only in exceptional cases and cannot exceed two years.<br>N.B. Spring term begins in April, and admission certificates are issued in the middle of December. We are not responsible for any visa difficulties due to premature arrival in Japan. | Applicants under category (B) should submit their articles and/or papers in synopsis form of about 5 pages. These should be sent direct to the Department. Language used should be either English or Japanese. Please note that receipt of the papers does NOT guarantee successful application. |
| 現代文芸論 | 大学院の授業の受講に差し支えない程度の日本語能力および文学研究の基礎知識を有する人を受け入れています。 | 出身大学に提出した卒業論文、または文学に関する研究論文（12,000字程度）。日本語以外で執筆した場合は、日本語による12,000字程度の抄訳を添えること。 |
| 社会心理学 | 大学教育において実証研究の方法論的基礎を身につけていることが望ましいと考えています。授業で話される日本語を十分理解し、また英語について十分な読解力を有することが最低限必要です。 | 大学院外国人研究生としての研究計画を日本語で1,500字以上で説明したもの |
| 文化資源学・文化経営学 | 原則、国費及び国費に準ずる公的奨学金を受給する見込みのある者に限り、受け入れを検討いたします。 | |
| 上記以外の専門分野 | | なし |